



V5.0

アップデート 適用手順書

はじめに

本書は、楽²ライブラリ クライアントサーバ V5.0 のアップデート適用方法について説明しています。
はじめに「適用する前の注意事項」をお読みください。

アップデートパックの適用方法の最新情報は、アップデートパックに含まれる「適用手順説明書」に記載しています。そちらも合わせて参照してください。
「適用手順説明書」は、アップデートパック内の“setup.txt”ファイルです。

※ 本書のサーバマシンの画面は Windows Server® 2008 R2、クライアントマシンの画面は Windows® 10 を例にしています。OS の種類によって表記が異なる場合があります。

■ 高度な安全性が要求される用途への使用について

本製品は、一般事務用、パーソナル用、家庭用、通常の産業等の一般的用途を想定して開発・設計・製造されているものであり、原子力施設における核反応制御、航空機自動飛行制御、航空交通管制、大量輸送システムにおける運行制御、生命維持のための医療用機器、兵器システムにおけるミサイル発射制御など、極めて高度な安全性が要求され、仮に当該安全性が確保されない場合、直接生命・身体に対する重大な危険性を伴う用途（以下「ハイセイフティ用途」という）に使用されるよう開発・設計・製造されたものではありません。

お客さまは本製品を必要な安全性を確保する措置を施すことなくハイセイフティ用途に使用しないでください。また、お客さまがハイセイフティ用途に本製品を使用したことにより発生する、お客様または第三者からのいかなる請求または損害賠償に対しても株式会社PFUおよびその関連会社は一切責任を負いかねます。

第7版 2021年11月

社名および商品名は各社の商標または、登録商標です。
記載されているシステム名、製品名等には、必ずしも商標表示（®、™）を付記していません。

© PFU Limited 2003-2021

目次

1.	適用する前の注意事項.....	1
2.	楽2サーバにアップデートを適用する.....	6
3.	連携ソフトウェアをインストールする.....	12
4.	楽 ² ビューアを更新する.....	15

1. 適用する前の注意事項

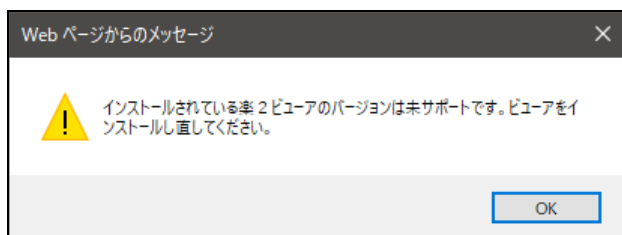
本アップデートを適用する前に、以下を確認してください。

アップデートは楽²ライブラリが動作するサーバマシンに適用してください。

本アップデートパックは楽²ライブラリが動作するサーバ上で実行してください。

アップデート完了後、すべてのクライアントマシンの楽²ビューアを更新する必要があります。

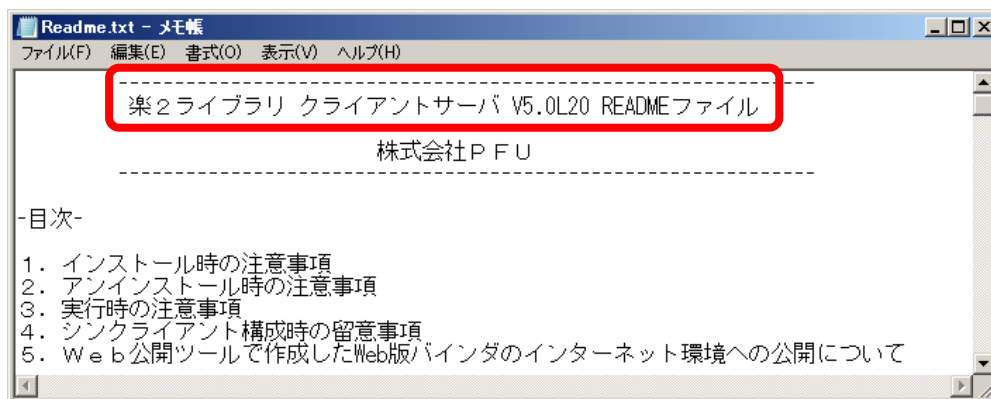
アップデートパックは、楽²ライブラリのサーバアプリケーションにのみ適用されます。適用後、すべてのクライアントマシンで、楽²ビューアも必ずアップデートしてください。
※ 楽²ビューアをアップデートしないと、以下のエラーとなり、バインダを開くことができない場合があります。



現在お使いの楽²ライブラリがアップデート適用対象のバージョン・レベルであることを確認してください。

現在お使いの楽²ライブラリのバージョン・レベルは、サーバマシン上の「楽²ライブラリ クライアントサーバ README ファイル」で確認することができます。

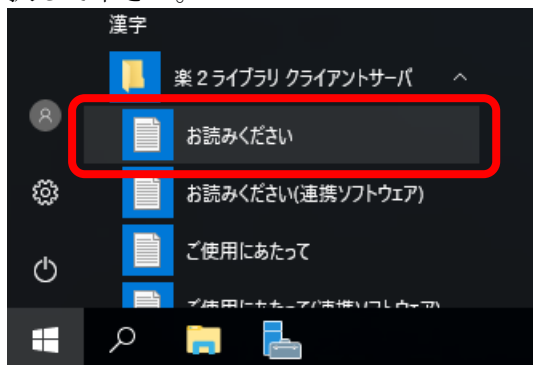
※下記の例では「V5.0L20」であることを示しています。



README ファイルは以下の方法で開くことができます。

(Windows Server® 2016 以降の場合)

1. スタートメニューから[楽2ライブラリ クライアントサーバ] → [お読みください] の順に選択して下さい。



(Windows Server® 2012 R2/Windows Server® 2012 の場合)

1. すべてのアプリを表示します。

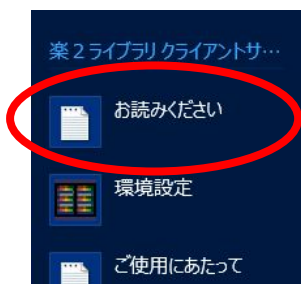
Windows Server® 2012 R2 の場合は、スタート画面を開き、画面左下の以下のアイコンをクリックします。



Windows Server® 2012 の場合は、スタート画面を開き、スタート画面上で右クリックすると、画面右下に「すべてのアプリ」アイコンが表示されますので、[すべてのアプリ]アイコンをクリックします。



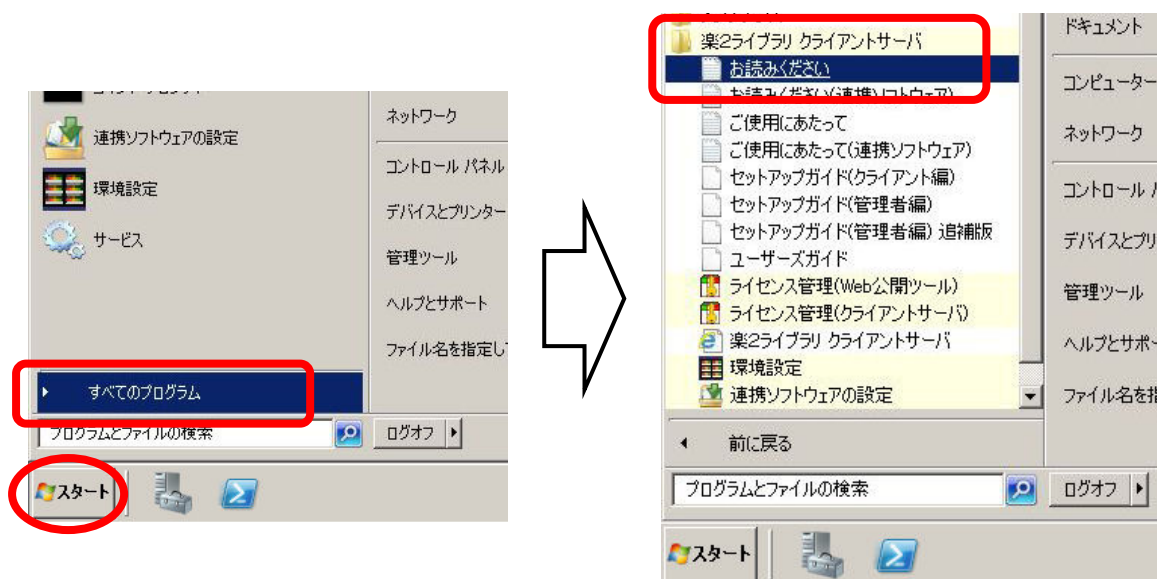
2. アプリ画面が表示されます。「楽2ライブラリ クライアントサーバ」の「お読みください」をクリックして下さい。



((Windows Server® 2008 R2/Windows Server® 2008 の場合)

スタートメニューから [すべてのプログラム](*) → [楽²ライブラリ クライアントサーバ] → [お読みください] の順に選択して下さい。

(*) OS の設定によっては[すべてのプログラム] メニューがない場合があります。



サーバマシン上の楽²ライブラリ関連のプログラムやドキュメントはすべて閉じてからアップデートを適用してください。

サーバマシン上で以下のプログラムやドキュメントを開いている場合は、すべて閉じてからアップデートを適用してください。

- 楽²ライブラリ関連のプログラム (環境設定、ライセンス管理など)
- 楽²ライブラリのブラウザ画面
- 楽²ライブラリ クライアントサーバのマニュアル (セットアップガイド、ユーザズガイドなど)
- 楽²ライブラリ クライアントサーバのドキュメント (お読み下さい、ご使用にあたって)

アップデートの適用が完了するまですべてのサーバマシンへのアクセスを行わないでください。

アップデート適用中に Internet Information Services(IIS)を再起動しますので、適用が完了するまで楽²ライブラリを含むすべてのサーバマシンへの Web アクセスを行わないで下さい。

また、アップデート適用中に他のコンピュータからサーバマシンにアクセスすると、アップデートが正しく適用されない場合があります。アップデートの適用が完了するまでクライアントマシンからサーバマシンへアクセスしないようにしてください。

【旧版の“楽²ライブラリ 連携ソフトウェア” がインストールされている場合】

アップデートを適用する前に“楽²ライブラリ 連携ソフトウェア” をアンインストールしてください。

サーバマシンに旧版の「楽²ライブラリ 連携ソフトウェア」(以降、「連携ソフトウェア」)がインストールされている場合は、必ず連携ソフトウェアをアンインストールし、サーバマシンを再起動してから、アップデートを適用してください。連携ソフトウェアをお使いになる場合は、アップデート適用後に最新版をインストールしてください。

連携ソフトウェアをアンインストールし、アップデート完了後に最新版をインストールしても、設定情報は引き継がれます。

<連携ソフトウェアがインストールされているかを確認する方法>

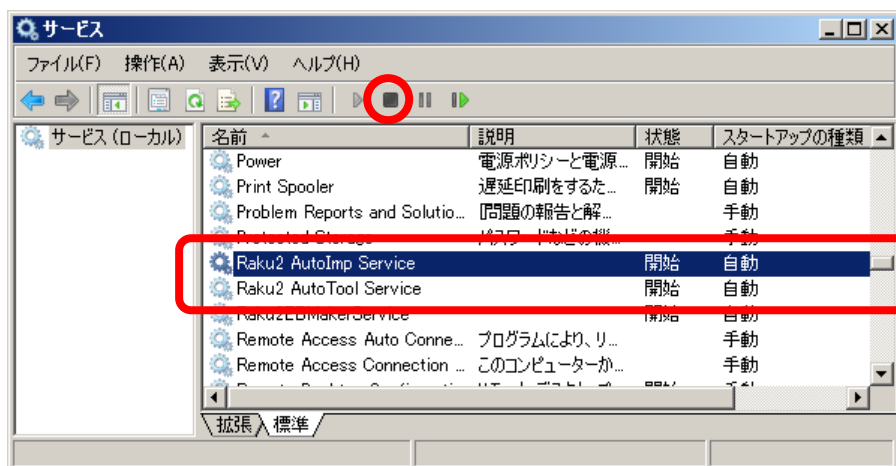
デスクトップ画面に「連携ソフトウェアの設定」ショートカットがある場合は連携ソフトウェアがインストールされています。

※連携ソフトウェアをアンインストールしても、設定情報は保持されます。

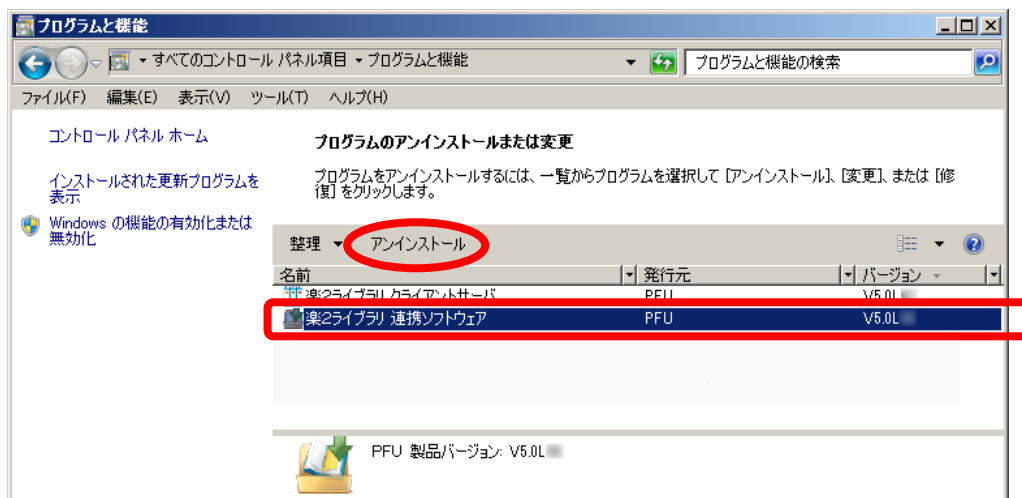


<連携ソフトウェアのアンインストール手順>

1. 連携ソフトウェアの監視対象フォルダにファイルが残っていないことを確認して下さい。
※ 連携ソフトウェアでファイル取り込み中に以降の操作を行うと、バインダが破損する場合があります。
2. 管理ツールに含まれる「サービス」を開き、サービスの一覧を表示します。
3. 以下のサービスを順に停止します。サービス名を選択し、サービスの停止ボタンまたは右クリックメニューから[停止]を選択すると、サービスを停止することができます。
 - ① Raku2 AutoImp Service
 - ② Raku2 AutoTool Service
 - ③ Raku2 ImageWriter Service (アップデート適用前の版数が V5.0L10, V5.0L11 の場合のみ)



4. コントロールパネルの [プログラムと機能] から「楽2ライブラリ 連携ソフトウェア」をアンインストールします。



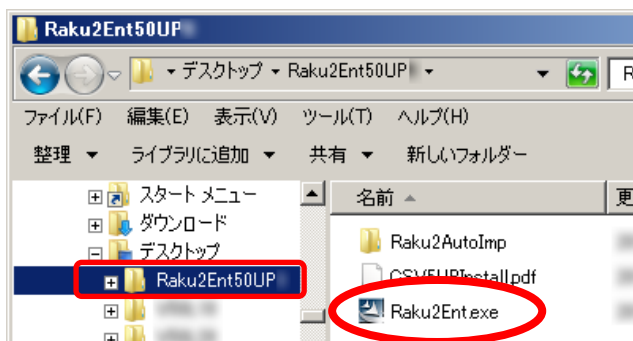
5. 画面の指示に従ってアンインストールした後、コンピュータを再起動します。
※アンインストール後は必ずコンピュータを再起動してください。

2. 楽2サーバにアップデートを適用する

楽2ライブラリ クライアントサーバがインストールされたサーバマシン（楽2サーバ）にアップデートを適用します。

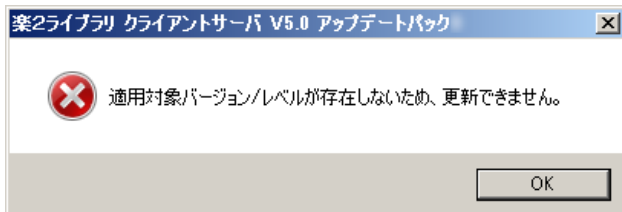
アップデート適用後にサーバマシンの再起動が必要となる場合があります。

1. 楽2ライブラリが動作するサーバに管理者権限のアカウントでログインします。
2. アップデートプログラムをダウンロードし、ローカルフォルダに保存します。
3. ダウンロードした exe ファイルを実行すると、自己解凍が始まり、exe ファイルと同じ場所にフォルダ「**Raku2Ent50UP_{xx}**」（**xx**は「アップデートパック **xx**」の数字部分と同じ）が生成されます。
（例：「アップデートパック 16」の場合、「Raku2Ent50UP16」となります）
4. 生成されたフォルダの下にある「**Raku2Ent.exe**」ファイルを実行します。

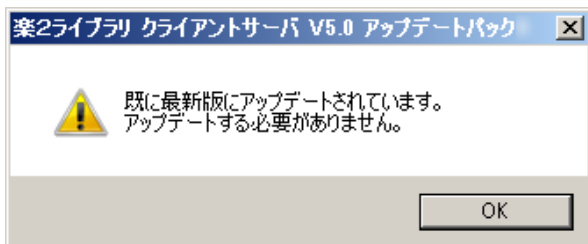


※左図の例では、デスクトップに「Raku2Ent50UP_{xx}.exe」ファイルを保存し、ファイルを解凍後、「Raku2Ent50UP_{xx}」フォルダ配下の「Raku2Ent.exe」ファイルを実行しています。

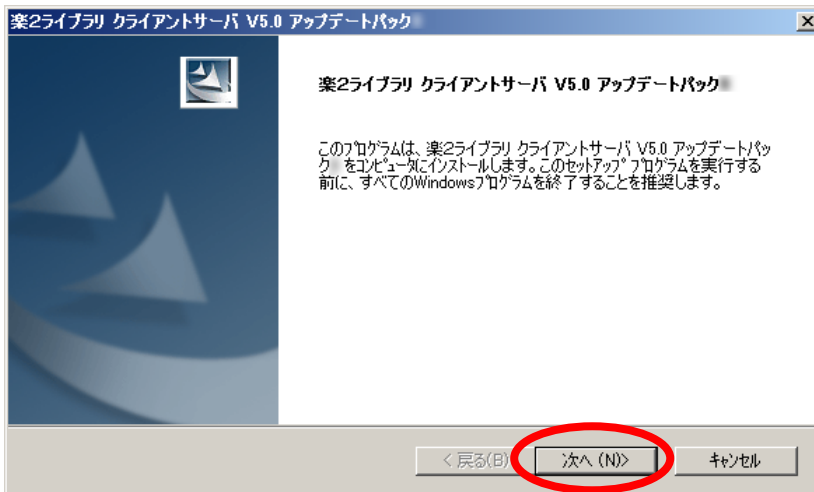
以下の画面が表示された場合は、現在お使いの楽2ライブラリ クライアントサーバのバージョンレベルがアップデートの適用対象かを確認してから、再度アップデートを適用してください。



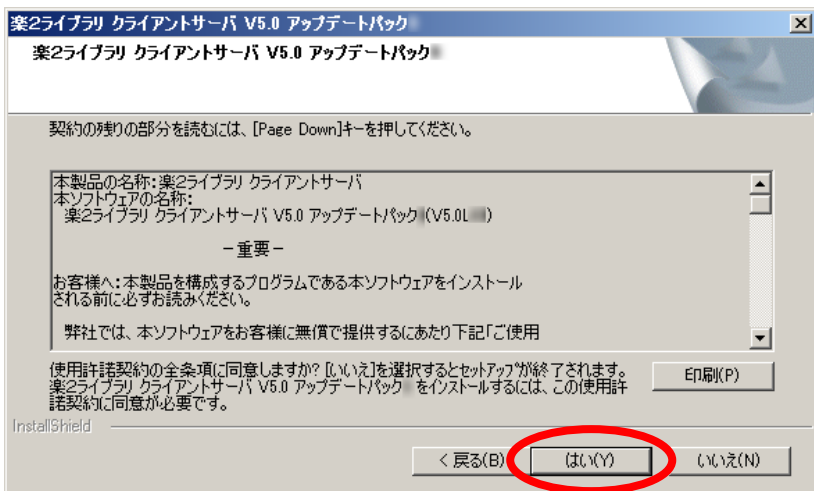
以下の画面が表示された場合はすでに最新のアップデートが適用されています。



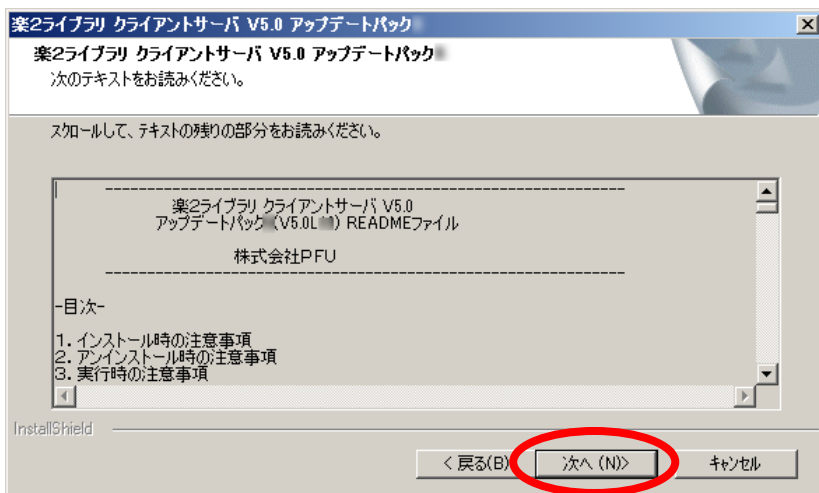
5. インストーラが起動され、以下の画面が表示されます。[次へ]をクリックしてください。



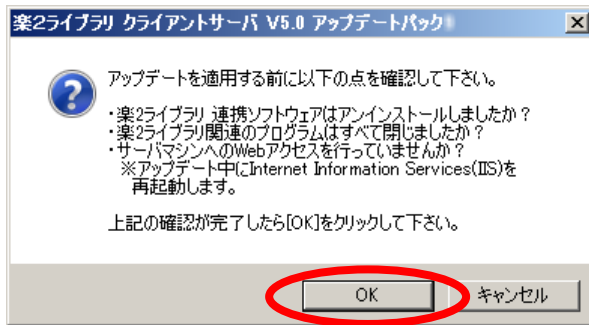
6. 製品使用許諾契約の画面が表示されます。製品使用許諾の内容をお読みいただき、同意される場合は[はい]をクリックしてください。製品使用許諾に同意されない場合は[いいえ]をクリックするとインストールを中止します。本製品をお使いになるには、製品使用許諾に同意する必要があります。



7. 「情報」画面が表示されますので、内容をお読みいただいた後 [次へ] をクリックします。この画面には、インストール時の注意事項などの留意事項や参考になる情報が記載されています。必ずお読みください。



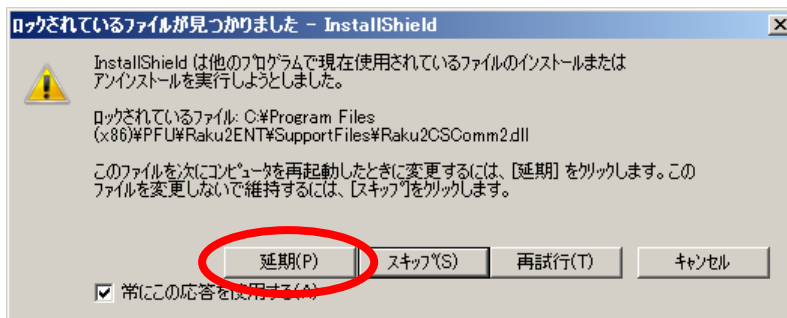
8. 以下の画面が表示されます。
内容を確認してから[OK] をクリックしてください。



旧版の連携ソフトウェアをアンインストールしていない場合は、[キャンセル]ボタンをクリックしてアップデートプログラムを終了してから、[＜連携ソフトウェアのアンインストール手順＞](#)にしたがって連携ソフトウェアをアンインストールした後で、再度アップデートを適用してください。

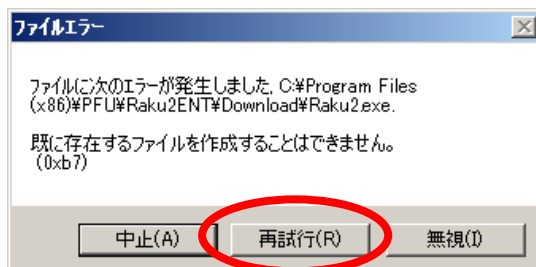
9. アップデートが開始されます。完了までしばらくお待ちください。

アップデート中に以下のようなメッセージが表示された場合は、必ず[延期]ボタンを選択してください。その他のボタンを選択した場合、楽²ライブラリ クライアントサーバが正常に動作しなくなる場合があります。

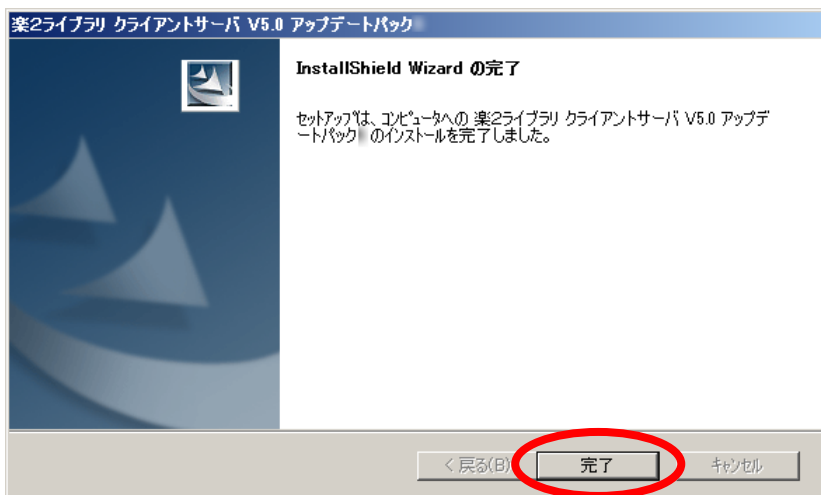


アップデート中に以下のメッセージが表示された場合は、アップデート適用中のサーバから楽²ビューアをダウンロードしているクライアントマシンがあります。

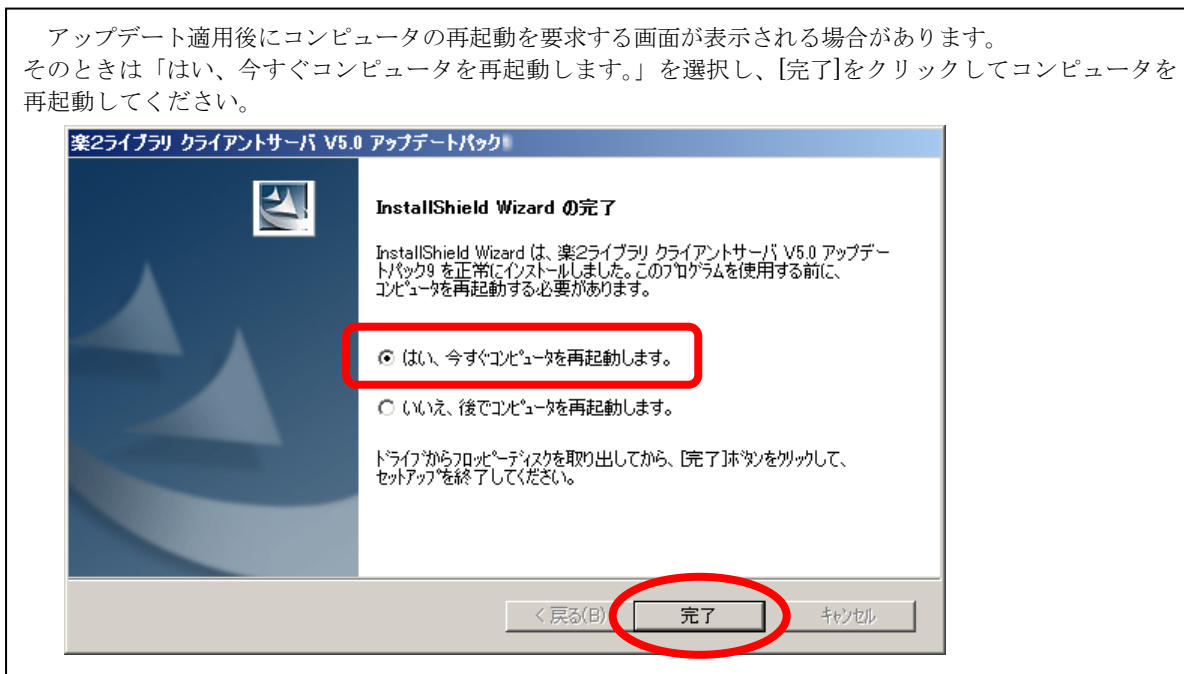
該当クライアントマシンからのアクセスを終了したあとで、必ず[再試行]ボタンを選択してください。その他のボタンを選択した場合、楽²ライブラリ クライアントサーバが正常に動作しなくなる場合があります。



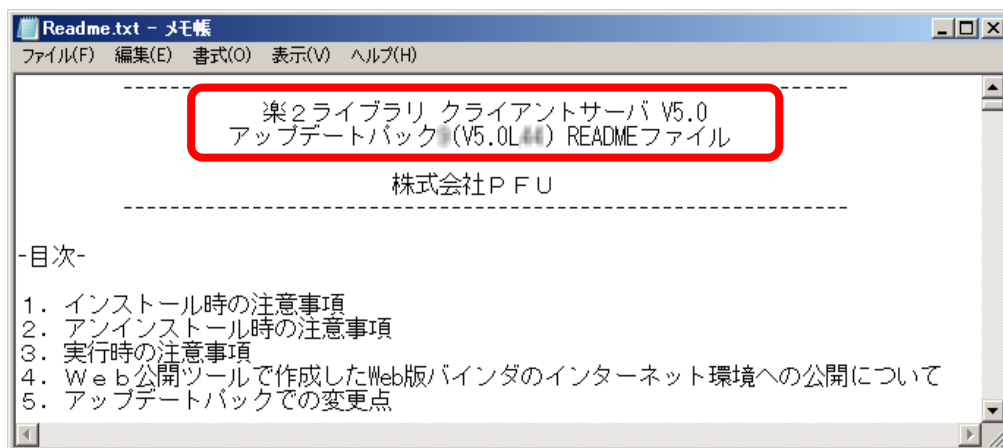
10. アップデートの適用が完了するとインストール完了画面が表示されます。
[完了]をクリックしてください。



アップデート適用後にコンピュータの再起動を要求する画面が表示される場合があります。そのときは「はい、今すぐコンピュータを再起動します。」を選択し、[完了]をクリックしてコンピュータを再起動してください。



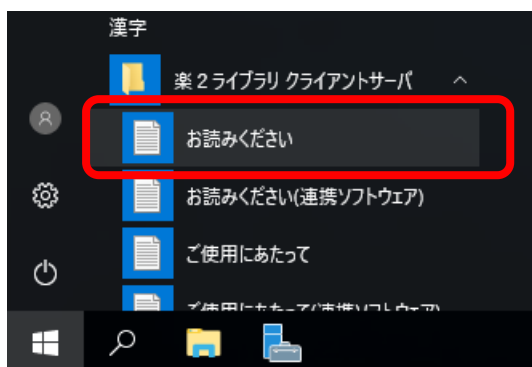
11. アップデート適用後の楽²ライブラリのバージョン・レベルは、サーバマシン上の「楽²ライブラリ クライアントサーバ README ファイル」で確認することができます。



README ファイルは以下の方法で開くことができます。

(Windows Server® 2016 以降の場合)

スタートメニューから[楽2ライブラリ クライアントサーバ] → [お読みください] の順に選択して下さい。



(Windows Server® 2012 R2/Windows Server® 2012 の場合)

1. すべてのアプリを表示します。

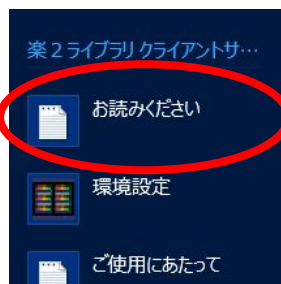
Windows Server® 2012 R2 の場合は、スタート画面を開き、画面左下の以下のアイコンをクリックします。



Windows Server® 2012 の場合は、スタート画面を開き、スタート画面上で右クリックすると、画面右下に「すべてのアプリ」アイコンが表示されますので、[すべてのアプリ]アイコンをクリックします。



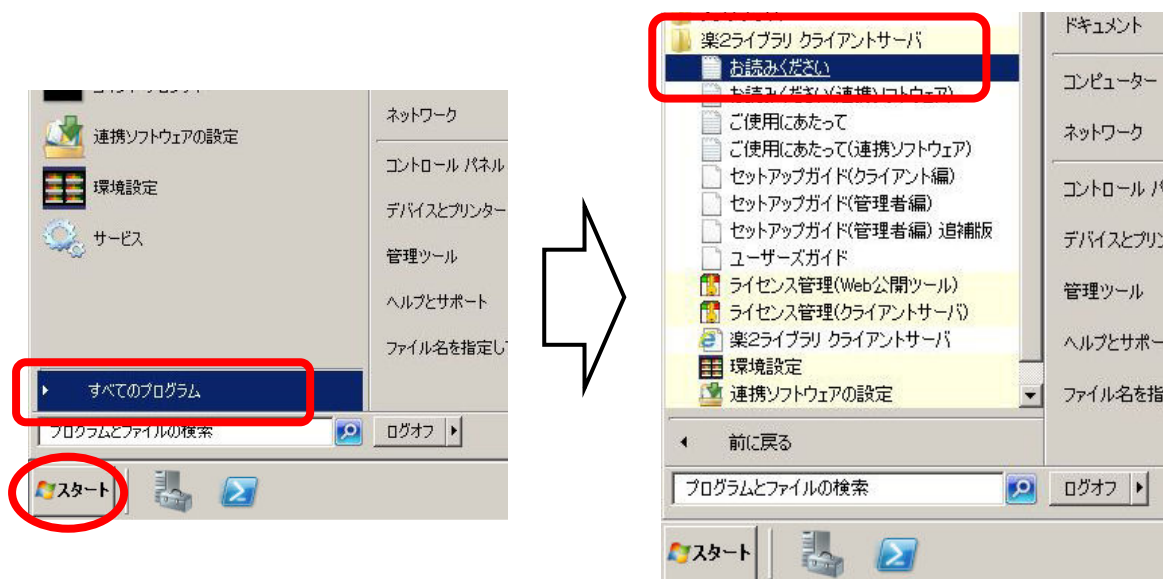
2. アプリ画面が表示されます。「楽2ライブラリ クライアントサーバ」の「お読み下さい」をクリックして下さい。



((Windows Server® 2008 R2/Windows Server® 2008 の場合)

スタートメニューから [すべてのプログラム](*) → [楽2ライブラリ クライアントサーバ] → [お読みください] の順に選択して下さい。

(*) OS の設定によっては[すべてのプログラム]メニューがない場合があります。

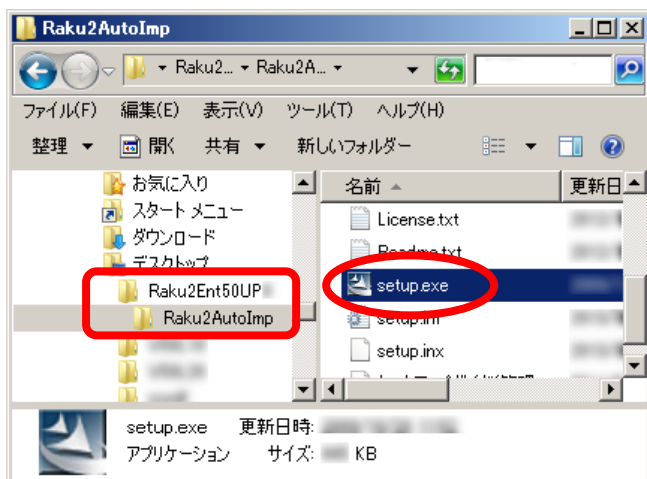


連携ソフトウェアをお使いの場合は、「[3. 連携ソフトウェアをインストールする](#)」へお進み下さい。
お使いにならない場合は、「[4. 楽²ビューアを更新する](#)」へお進み下さい。

3. 連携ソフトウェアをインストールする

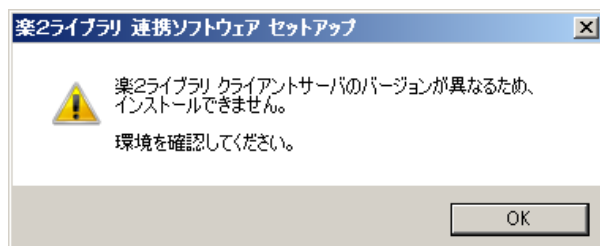
連携ソフトウェアを利用する場合は、以下の手順でインストールしてください。

1. 「2. 楽2サーバにアップデートを適用する」の手順 3. で生成されたフォルダ配下の "Raku2AutoImp¥setup.exe" ファイルを実行します。

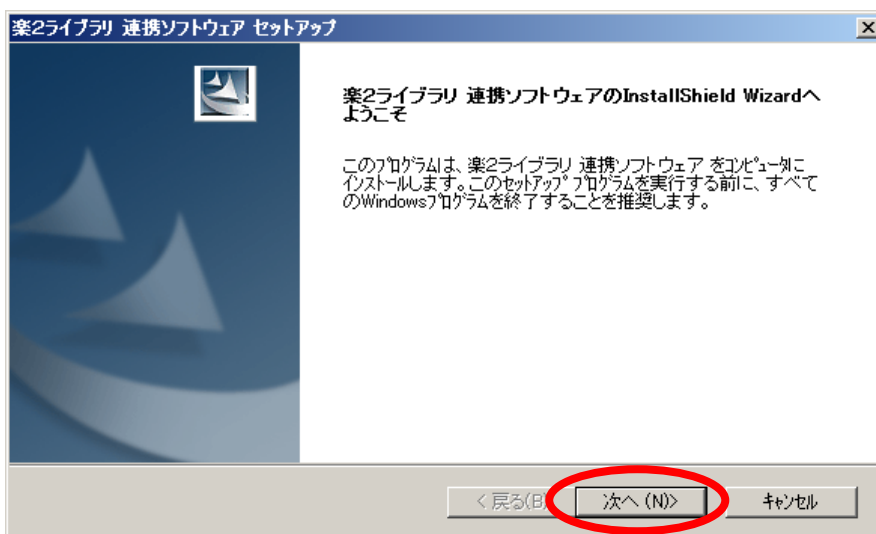


以下のメッセージが表示された場合は、楽²ライブラリ クライアントサーバのバージョンレベルが古いか、アップデートの適用に失敗している可能性があります。

楽²ライブラリ クライアントサーバのバージョンレベルを確認してください。

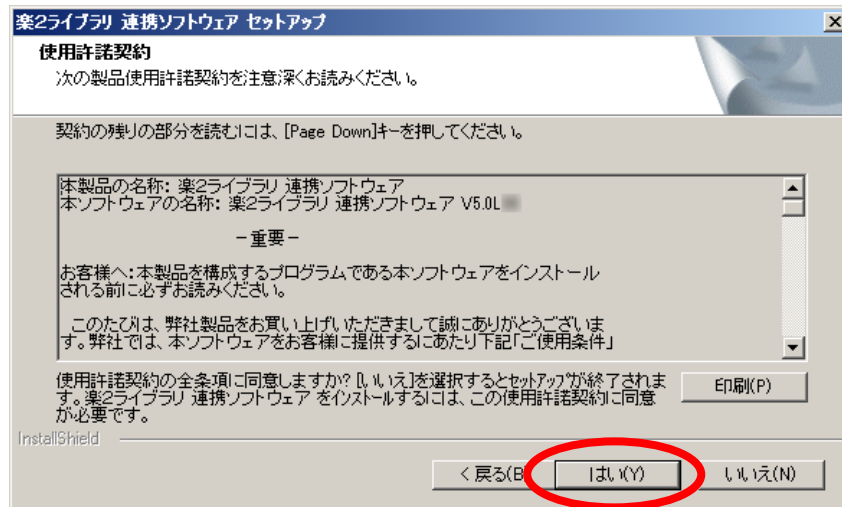


2. インストーラが起動され以下の画面が表示されます。[次へ]をクリックしてください。

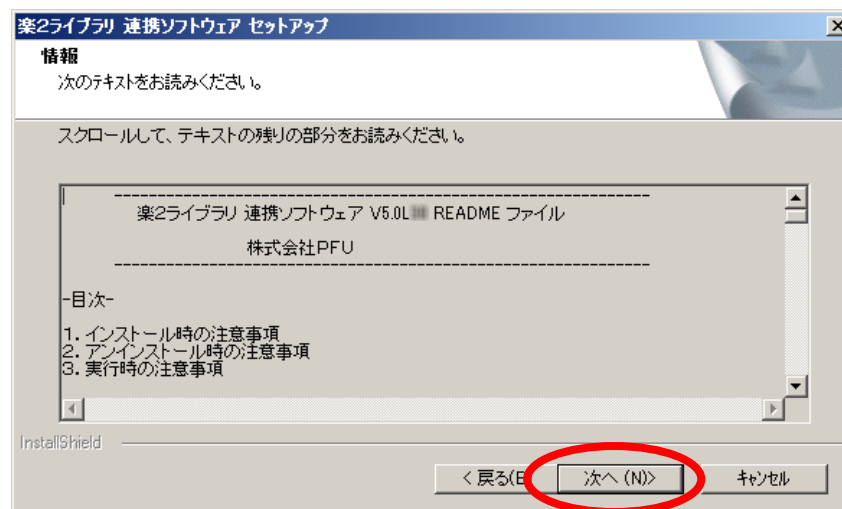


3. 製品使用許諾契約の画面が表示されます。製品使用許諾の内容をお読みいただき、同意される場合は[はい]をクリックしてください。製品使用許諾に同意されない場合は[いいえ]をクリックしてインストールを中止します。

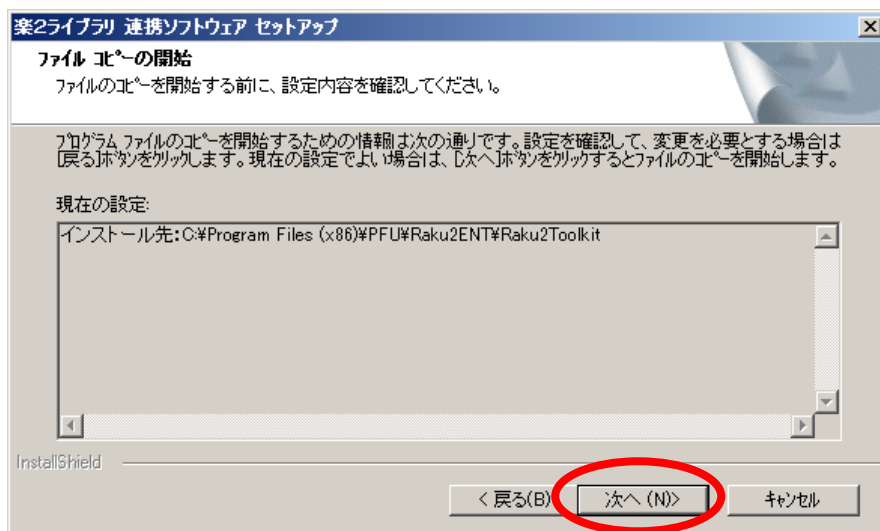
本製品をお使いになるには、製品使用許諾に同意する必要があります。



4. 情報画面が表示されますので、内容をお読みいただき [次へ] をクリックしてください。情報画面には README ファイルの内容が表示されます。ここにはインストール時の注意事項など、本書には記載されていない留意事項や参考になる情報が記載されていますので、必ずお読みください。

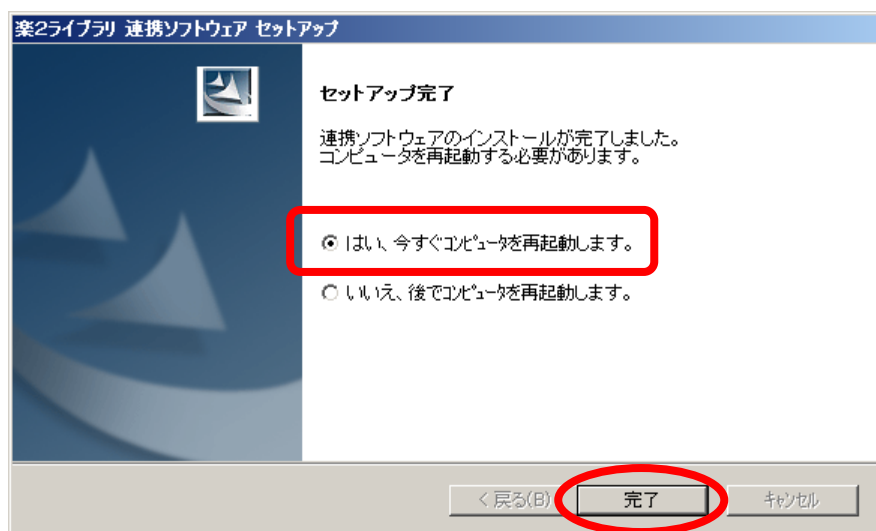


5. 「ファイル コピーの開始」画面が表示されます。[次へ]をクリックするとインストールを開始します。



6. 連携ソフトウェアのセットアップが完了すると、セットアップ完了画面が表示されます。「はい、今すぐコンピュータを再起動します。」を選択し、[完了]をクリックしてコンピュータを再起動するとインストールが完了します。

※ 必ずコンピュータを再起動してから次の手順へお進みください。



7. 連携ソフトウェアの設定画面を開き、「その他の設定」タブの「サービス設定」を再度行ってください。

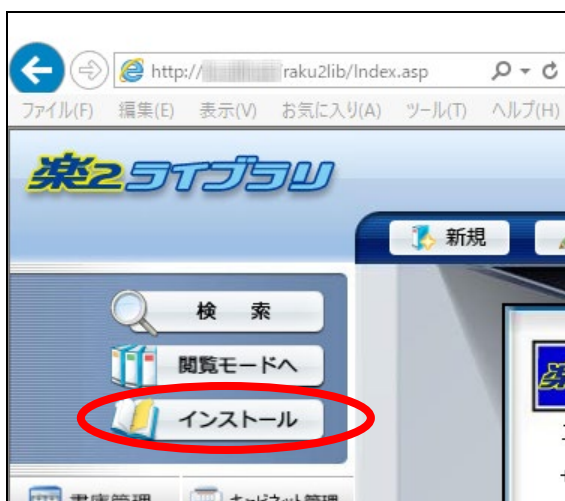
※ 設定方法については「セットアップガイド(管理者編)」の「7.1 ファイル自動取り込み」を参照して下さい。

4. 楽²ビューアを更新する

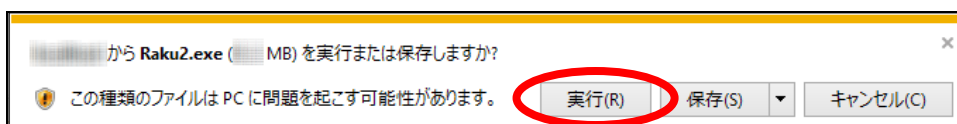
クライアントマシンの楽²ビューアを更新します。

- ※楽²ビューアの更新は、サーバマシンのアップデートが完了してから実施してください。
- ※Administrators 権限(コンピュータの管理者権限)のあるユーザー名でログオンして更新してください。
- ※楽²ビューアを起動しているときはすべて閉じてから更新してください。
また、楽²ライブラリの他の製品がインストールされている場合は、楽²関連のプログラムをすべて閉じてから更新して下さい。
- ※アップデートを適用した楽²サーバにアクセスするすべてのクライアントマシンについて、必ず楽²ビューアを更新してください。
更新しない場合、バインダを開くことができないことがあります。
- ※楽²ライブラリ パーソナル V5.0 がインストールされたコンピュータの楽²ビューアを更新する場合は、あらかじめ楽²ライブラリ パーソナル V5.0 の最新サービスパックを適用してください。

1. Web ブラウザを起動し、アップデートが完了した楽²ライブラリ クライアントサーバのブラウザ画面を開きます。
※ Internet Explorer 以外のブラウザをお使いの場合、バインダは表示されませんが、そのまま操作してください。
2. 「インストール」 ボタンをクリックして、楽²ビューアのインストーラをダウンロードします。

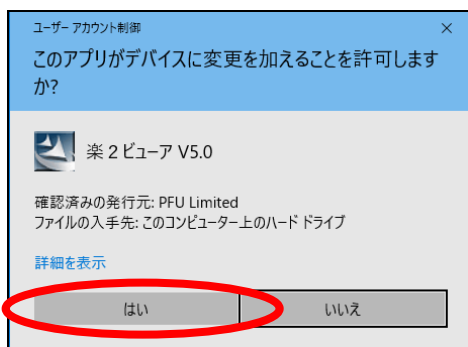


3. 楽²ビューアのインストーラ(Raku2.exe)の実行または保存確認画面で「実行」をクリックします。

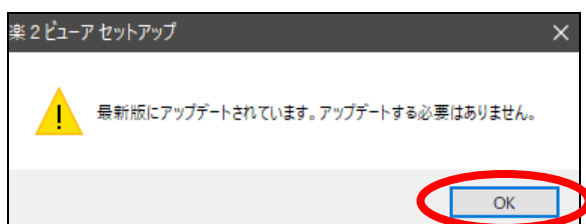


この画面で「保存」ボタンをクリックして、楽²ビューアのインストーラを保存することもできます。その場合は、保存先(デフォルトは「ダウンロード」フォルダです)にダウンロードされた“Raku2.exe”を実行してください。

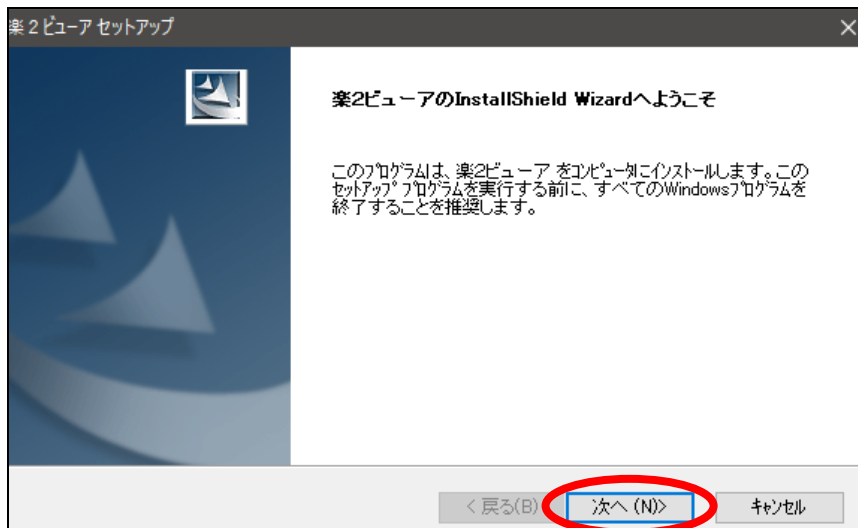
インストーラ実行時に、「ユーザー アカウント制御」画面が表示されることがあります。「ユーザー アカウント制御」画面が表示された場合は[はい]を選択してください。



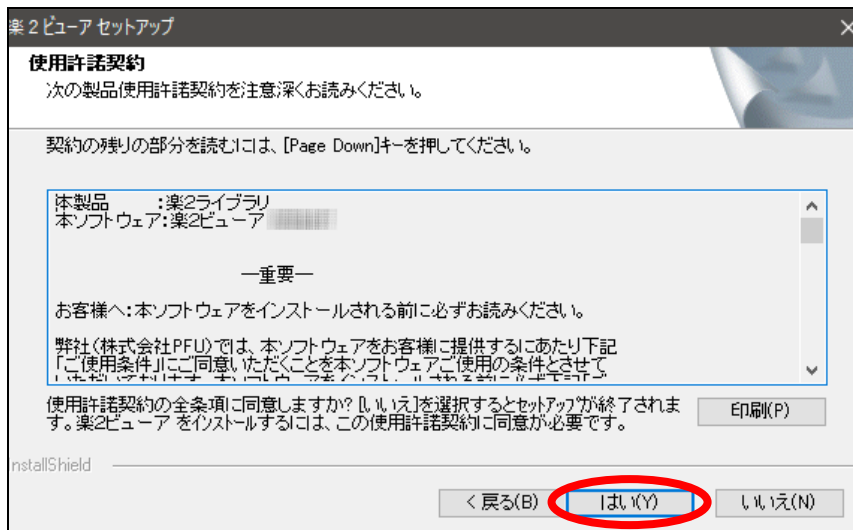
以下の画面が表示された場合はすでに最新のアップデートが適用されていますので、楽²ビューアの更新は不要です。[OK]ボタンをクリックしてください。



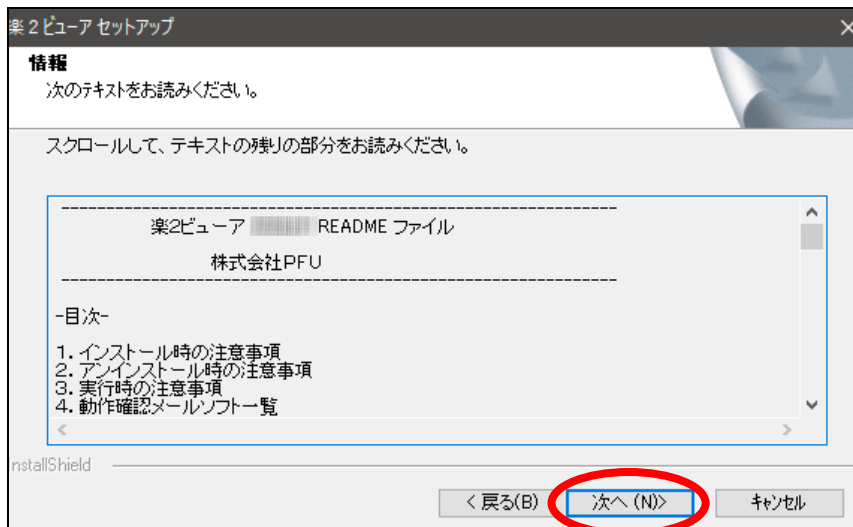
4. しばらくすると、「楽2ビューアの InstallShield Wizard へようこそ」画面が表示されます。
[次へ]をクリックします。



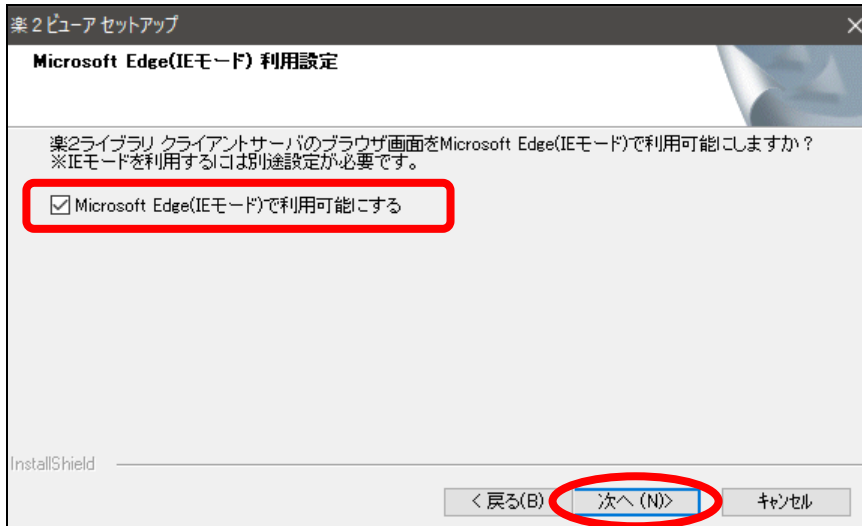
5. 楽²ビューアの使用許諾契約画面が表示されます。内容を最後までお読みいただき、同意する場合は[はい]を選択します。製品使用許諾に同意されない場合は[いいえ]をクリックしてインストールを中止します。本製品をお使いになるには、製品使用許諾に同意する必要があります。



6. 楽²ビューアの情報画面が表示されます。ここには、インストール時の注意事項など、本書には記載されていない留意事項や参考になる情報が記載されていますので、必ずお読みください。内容を最後までお読みいただき、[次へ]を選択します。



7. Microsoft Edge(IE モード) 利用設定画面が表示されます。通常は、そのまま[次へ]を選択します。



この画面では、楽²ライブラリ クライアントサーバのブラウザ画面を Microsoft Edge (IE モード) で使えるようにする設定を行います。

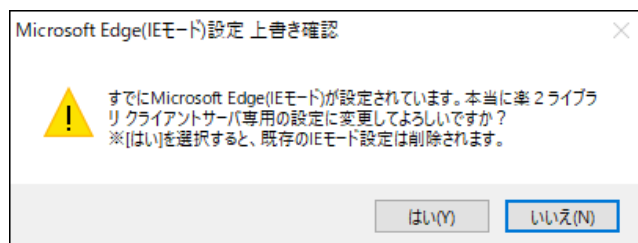
Microsoft Edge (IE モード) を利用する／しないにかかわらず、通常はそのまま [次へ] を選択してください。

- ・本設定に関係なく、従来通り Internet Explorer はお使いいただけます。
- ・Microsoft Edge (IE モード) を利用するには、楽²ビューアのインストール後に楽²サーバを IE モードでアクセスするための設定が必要です。
設定方法等については「**IE モード設定手順書**」を参照してください。

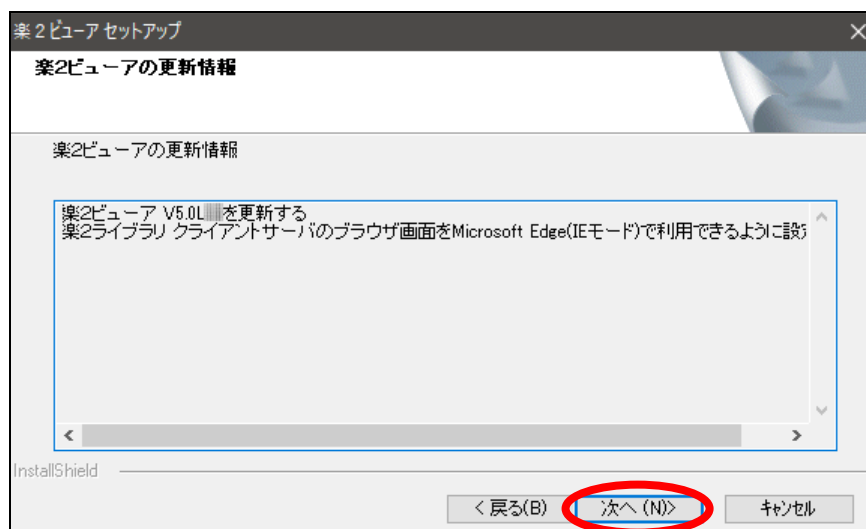
- ・「Microsoft Edge(IE モード)で利用可能にする」の既定のチェック状態は次のようになっています。
 - － 初めて Microsoft Edge(IE モード)の設定を行う場合は、チェックが入っている状態で画面が表示されます。チェックを外すと、楽²ライブラリ クライアントサーバのブラウザ画面を Microsoft Edge(IE モード)で利用することはできません。
 - － Microsoft Edge(IE モード)が利用できるように設定されているコンピュータの場合はチェックが入っていない状態で表示されますので、**通常はそのまま [次へ] を選択してください。**

チェックを入れた場合、設定済みの IE モード利用設定は破棄され、楽²ライブラリ クライアントサーバ専用の設定に置き換えられますので、**置き換えて良い場合のみ**、「Microsoft Edge(IE モード)で利用可能にする」にチェックを入れてから [次へ] を選択してください。

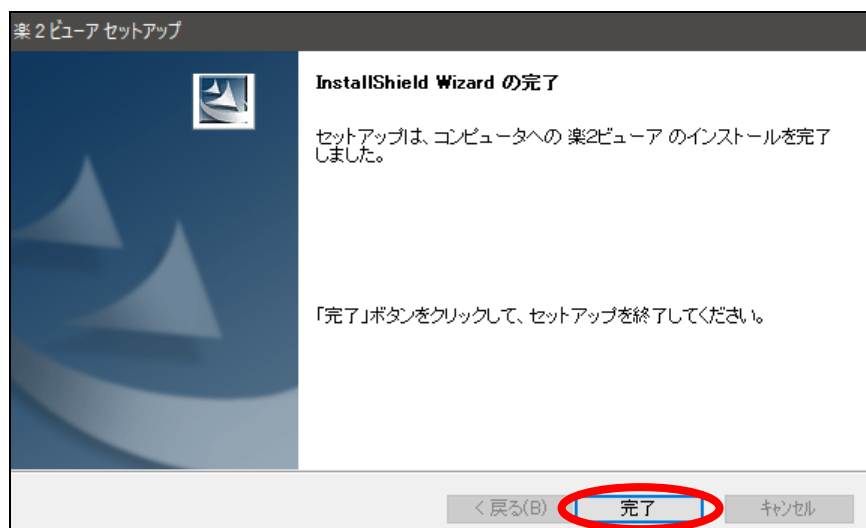
[次へ] を選択すると、設定を上書きするかどうかの確認画面が表示されます。設定を上書きする場合は[はい]を選択してください。



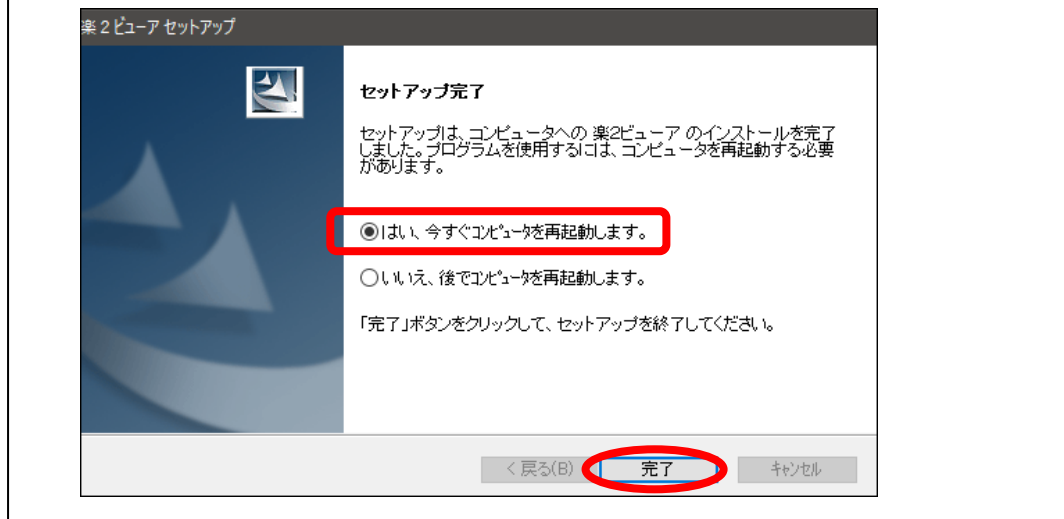
8. 「楽2ビューアの更新情報」画面が表示されます。表示内容を確認して[次へ]を選択すると、楽2ビューアをアップデートします。アップデートが完了するまでしばらくお待ちください。



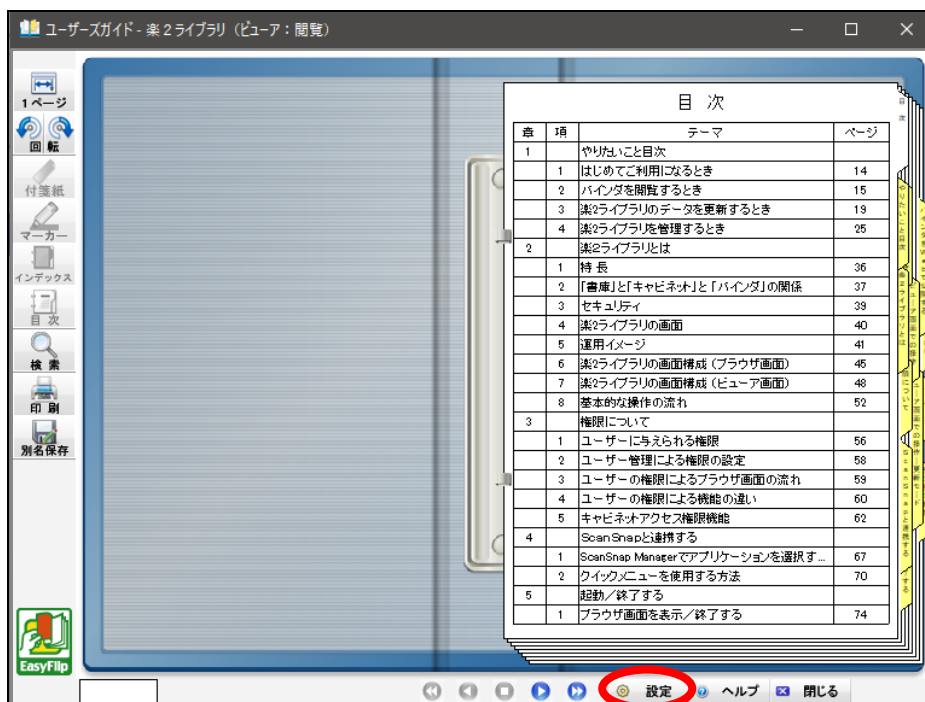
9. セットアップ完了画面が表示されたら、楽2ビューアのインストールは完了です。



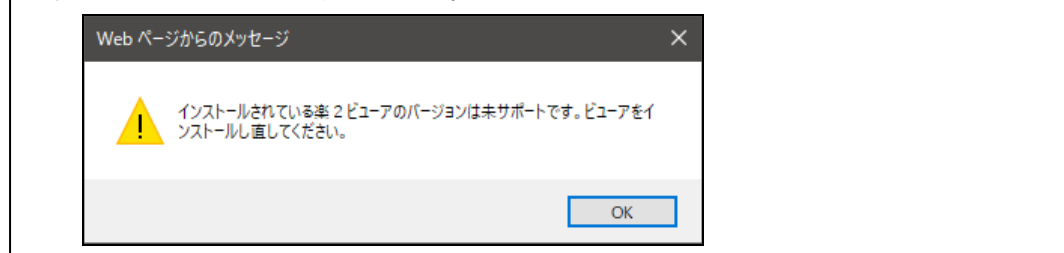
インストール完了後に、コンピュータの再起動を要求する画面が表示される場合があります。そのときは「はい、今すぐコンピュータを再起動します。」を選択し、[完了]をクリックしてコンピュータを再起動してください。



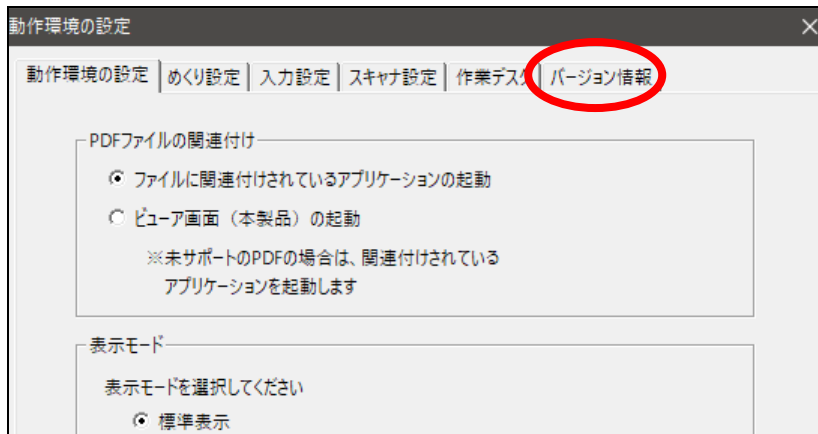
10. 楽²ビューアが正しく更新されたことを確認します。任意のバインダを楽²ビューアで開き、[設定]をクリックします。



バインダを開く時に以下のメッセージが表示された場合、楽²ビューアが更新されていないので、再度楽²ビューアを更新して下さい。



11. 「動作環境の設定」画面が表示されますので、「バージョン情報」タブを選択します。



12. バージョン情報が表示されますので、楽²ビューアのバージョン・レベルを確認して下さい。



以上で、楽²ビューアの更新は完了です。